



THE Y'S MEN'S CLUB OF KANAZAWA-SAIGAWA

CHARTERED IN JUNE 12, 1993

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF
Y'S MEN'S CLUBS

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

c/o YMCA : 44-1, SATOMICHO, KANAZAWA, JAPAN ☎920-0998 □(076)221-5398

<http://www.ys-chubu.jp/saigaways/>

国際会長主題	「世を照らす光となろう」 “Be the light of the world”
スローガン	「恵みを愛もて分かち合おう」 “Share your blessings in love”
アジア地域会長主題	「歳月は Y's をワイズ (賢者) にする」 “Years bring wisdom”
スローガン	「行動が活力を呼び覚ます」 “Action vitalize life with strength”
西日本区理事主題	「先頭に立ってワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で」
スローガン	「ワイズメンの満足度向上を 真摯に取り組もう」
中部部長主題	「前へ! 声を掛け合い!」 “Go forward! Call together!”
金沢川クラブ会長主題	「活力に満ちたライフを!」 “Vitalize Our Lives at the Y's Men's Club!”
会長: 澤瀬 諭, 副会長: 川村孝治, 書記: 北 肇夫, 会計: 三谷信三, 直前会長: 北 肇夫	

今月の聖句: しかし、私は言うておく。悪人に手向かってはならない。だれかがあなたの右の頬を打つなら、左の頬をも向けなさい。 マタイによる福音書 5. 39

2012年10月強調月間

BF

世界につながる、世界につなげるブラザーフード基金 (BF)。使用済み切手収集から始まる国際交流の輪。あなたの貢献で世界のワイズはつながる。 岡野泰和 ファンド授業主任 (大阪土佐堀クラブ)

☆☆☆10月第一例会案内☆☆☆ バーベキュー・中部部長訪問 特別例会	☆☆☆9月例会報告☆☆☆
日 時: 10月8日(祝・月) 11:00-15:00 場 所: 松任海浜公園/バーベキュー広場 (白山市相川町 2557 TEL 076-274-0639) 会 費: 2500 円 準 備: 平口君 ***プログラム***	[第一例会] ネット強調月間特別例会、9月17日(祝・月)、11:30~16:00、参加者: ゲスト・ビジター13名(カイト1名、金沢クラブ3名、金沢YMCA2名、他7名)、犀川クラブ7名(北君・澤瀬君・竹中君・平口君・三谷君・北ネット・澤瀬ネット)。 [第二例会] 9月27日(木) 19:00~21:00、金沢YMCA集会室、出席者: 川村君・北君・澤瀬君・竹中君・平口君・三谷君。
司 会 : 川村君 開会・点鐘 : 澤瀬会長 ワイズソング : 一同 今月の聖句 : 司会者 ゲスト紹介 : 澤瀬会長 中部部長挨拶 : 荒川中部部長 食前の感謝 : 三谷君 —— 会 食 ——	瀬戸山陰部部会 10月8日(祝・月)、YMGA 米子医療福祉専門学校、ホストクラブ: 米子クラブ。九州部部会 10月20日(土)、阿蘇YMCA、ホストクラブ: 熊本クラブ。 秋のクリーンキャンペーン 10月21日(日) 7:00~8:00、新桜坂緑地(W坂)、雨天決行。
事業委員報告 : 各委員 ニコニコタイム : 三谷君 閉会・点鐘 : 澤瀬会長 *例会に使用済み切手をご持参ください。	今月のハッピーバーベキュー 該当者なし。 11月の当番 司会: 竹中君、準備: 竹中君 今月の聖句について 一見、この教えはとても無理なように思えるが、当時のイスラエルの民の置かれた社会状況に照らして考えると、「目には目を、歯には歯を」に対する“復讐するなかれ”という主旨の教え(38—42節)は理に合っている。また、この教えはガンジーの非暴力主義にも通じる。(平口)

当クラブ	9月出席者	9月出席率	BFポイント	ニコニコタイム
正会員 6名	メ ン 5名	100%	前月繰越切手 1,750g	8月累計 133,906円
広義会員 0名	メネット 2名		9月分切手 64g	9月分 5,000円
	ビジター 3名	メーキャップ 1名	今年度累計	
	ゲスト 10名		切手 1,814g	
			現金 0円	
合計 6名	20名	100%		累計 135,906円

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

◆ 9月第一例会報告 ◆

「まいどさん」とそぞろ歩く“武家屋敷のお庭”

北 肇夫

9月第一例会は、9月17日(祝・月) ネット強調月間の行事として開催。36度を超す猛暑日のなか、参加者20名を得て、金沢観光ボランティアガイド「まいどさん」福岡澄子氏の案内のもと、武家屋敷「野村家」のお庭、尾山神社の「神苑」、金沢城の「玉泉院丸庭園(復元整備中)」を中心に見学した。



(和風レストラン「きたま」で昼食、平口ワイス撮影)

出発に先立ち「和風レストランきたま」で早目の昼食をとりながら、「そぞろ歩き」のガイドンスや自己紹介があった。昼食のメニューは、加賀料理の治部煮・コリ汁や加賀野菜(金時草・加賀太キュウリ)。



(加賀藩千二百石“野村家”の武家屋敷庭園)

帰路には、金沢城辰巳櫓跡の高台から緑多い城下町を展望後、県中央公園で開催中の「金沢ジャズ・ストリート 2012」を聞きながら、同公園の目玉、金沢市出身の建築家谷口吉朗氏設計による「カスケード(大瀑布)」の傍らで涼をとり、夕刻、約4kmの散策を終えて自由解散となった。



(金沢城公園辰巳櫓跡にて、竹中ワイス撮影)

この行事には、北國新聞社の後援を得ていたため、国分紀芳・社会部記者の取材があり、翌日の同紙朝刊にはカラー写真入りで紹介された。

◆ 4秒に1人、貧困で幼い命が犠牲に ◆

竹中 丈晴

最近ネットでこんな文面が目に入りました。「世界では1年に約760万人。4秒に1人の割合で、子どもの命が失われています。それも、わずかなお金で予防し、救えるはずの病気によって。新聞やテレビではあまり知らされることのない緊急事態が静かに進行しています。力を貸してください。きょうこの子に目をとめてくれた、あなたの助けが必要です。」

豊かな日本に住んでいる私たちには想像しがたいことですが、世界にはこんな現実があることを知り、及ばずながらそういう子供たちのためにわずかでも力になればと思い、このNGO組織のある“ワールド・ビジョン・ジャパン”にスポンサーになりたいと申込みました。

しばらくして私のもとにこの組織の案内やチャイルド紹介カードが届き、私はインドの小学校1年の男の子の支援をすることになりました。貧困というと、アフリカをまず一番先に思い浮かべますが、インドでもその実態はアフリカとさほど変わらないことを知りました。特に子供の栄養不良と衛生知識の欠如、絶対的な貧困により社会秩序の低下がスラム街の子供たちの成長を蝕んでいることを知りました。そういう小さな子ども達の大きな未来のために少しでも応援してあげたいと思います。

◆ “今月の聖句”と“今月の讃美歌” ◆

平口 哲夫

ブリテンの“今月の聖句”を選ぶ役を三谷ワイスから引き継いだのは2005年8月号から。また、ホームページのブリテン・インデックスに“今月の讃美歌”を掲載することにしたのは、2005年12月号から(遡って2004年6月号まで追加)。いずれも私の独断で選んでいるのだが、回数を重ねるごとに、選択が難しくなってきた。

“今月の聖句”で心掛けているのは、(1)クリスチャンでないメンバーの心にも響きそうな聖句、(2)限られたスペースに収まる字数、以上2点である。当初は、パッと頭に浮かんだ、それらしき聖句を聖書で確認して掲載していたのだが、頭の中はすぐに品切れ、あれこれ聖書を拾い読みしながら適当な聖句を探すようになってしまった。また、聖句を掲げるだけでは理解しにくいとメンバーから苦情が寄せられたものの、たった2頁しかないブリテンで解説というのは難しいし、担当者の負担も大きすぎる。でもなんとかしなければと、2012年5月号から第一面右段に「今月の聖句について」というコラムをささやかに設けることにした。

“今月の讃美歌”のほうは、私の愛唱歌から適宜掲載することにしたが、これも数が限られているので、それ以外の讃美歌も選ぶようになり、さらには歌ったことのない讃美歌を選ぶ場合も出てきた。インターネットのThe Cyber Hymnalをリンクさせて曲も聴けるようにしたのだが、その場合は日本人の作曲したものを選ぶことができない。当初、日本語の歌詞や解説を載せていたページは、手間が掛かりすぎるので中止。

《 金沢 YMCA のホームページ 》

<http://www.ys-chubu.jp/kanazawaymca/>